

①肝障害に及ぼす影響

Wistar 系雄性ラット（5匹/群）の腹腔内にD-ガラクトサミン800mg/kgを投与して肝障害を誘発し、24時間後の血清中のGOT及びGPTを測定して肝障害の指標としました。バイオブランは、D-ガラクトサミン投与1時間前に20、40及び80mg/kgの用量で腹腔内に投与しました。バイオブラン非投与群（コントロール群）のD-ガラクトサミン投与24時間後の血清GOT及びGPTはそれぞれ1410及び445IU/Lでしたが、バイオブラン投与群のGOT及びGPTではいずれの用量においても、コントロール群に対して有意に低い値を示しました。

